

全国保健所長会 だより

はじめに

新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により、保健所という組織が注目されるようになりまし。身近にある行政機関ですが、住民の方と直接的に関わることで、それほど多くはないため、新型コロナウイルス感染症の発生初期に「帰国者・接触者相談センター」を探して全国保健所長会ホームページ(https://www.phcd.jp)以下、「当会HP」というのを初めてご覧になった方や、お住まいの地域の管轄保健所がどこであるかを初めて知った方も多かつたようです。

また、報道関係者の方々も改めて保健所とはどのような機関なのかということ調べるために当会HPを見てくださったり、保健所設置数の推移に関するデータを

現在、海外からの観光客はほほいない状況ですが、技能実習生等はコロナ禍でも変わらず入国あるいは滞在しています。新型コロナウイルスへの感染が判明した外国人の方は、保健所単位では少数であったとしても全国では相当数に上ります。当会HPに情報を掲載することで、出身国とは保健所の役割も感染者への対応もまったく異なる中で不安を抱える外国人の皆さまへの説明に利用され、

全国保健所長会ホームページのご紹介

全国保健所長会広報担当常務理事／長崎県県央保健所長 藤田利枝

求めて当会HP経由で問い合わせがあったりと、アクセスして下さる方がかなり増えたようです。当会HPはこれまでも日々、少しずつ情報を更新しておりますが、今回の事態を受けて、最新の情報を掲載していくことの必要性を改めて感じました。

会員だけでなく、すべての住民に 公衆衛生行政の情報を発信

当会HPは、全国保健所長会の活動に関連するもの、もしくは広く公衆衛生行政に寄与するものについての情報を掲載しています。本誌の「全国保健所長会だより」でご紹介している所長会活動についても詳細な内容を掲載しています。近年では、健康危機管理に関する情報を充実させており、災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)のマニュアルや様式

集などいつでもダウンロードして使うことができるようになってきました。現場での使い勝手を考え、印刷してあるいはデータとして保管しておくためのPDF形式と、各自自治体でアレンジして使うためのWord・Excel形式の両方を掲載しています。これは、実際に災害対応に当たった方々からの意見に「電子化してデータ収集・提供する環境が整わない中での活動時には紙媒体が必須であること」や、「必要な様式がすぐに見つけられるようにしてほしい」といった声があったことから、掲載の場所や内容をアレンジしたものです。

新型コロナウイルス感染症発生後は、保健所が行う疫学調査に活用できるツールや所長会メンバーから情報提供された最新の知見、各研究班が作成した資料などを随時掲載しています。こちらも、最

患者さんと保健所職員双方の不安解消につながっています。

当会HPは会員へはもちろんのこと、公衆衛生行政に興味のある方への情報発信にも活用されています。公衆衛生医師の確保・育成班が制作・運営しているブログや動画へのリンクをトップページに配置しているのは、多くの方に保健所の仕事内容や保健所で働くことの意義を知っていただき、公衆衛生行政で活躍する仲間を増

やしていきたいとの思いからです。公衆衛生行政は学生時代にはなじみの薄い分野であり、そこで働く医師像については臨床現場と違ってイメージが湧きにくいとの声が多く寄せられます。2018年の調査では、国内の医師のうち行政機関の従事者は全体の0.6%であり、その中には厚生労働省や精神保健福祉センターに勤務する医師も含まれているため、保健所や都道府県庁で勤務する医師に限るとその割合はさらに低くなります。目

立たない存在ではあっても、私たちが対象としているのはすべての住民そして社会全体であり、欠かせない役割であることを知っていただくことは、当会HPの重要な任務だと考えております。

新情報をトップページからすぐに見つけることができるようになってきました。感染者数が急増した保健所での受援体制づくり、複数の医療機関・高齢者施設クラスター対応に関する報告書などは、経験した保健所だからこそその気付きをまだ感染拡大していない地域に伝えて、今後に向けた準備を加速することに繋がっています。外国人への対応も各地で課題となっていることから、当会HPではグローバルヘルス研究班が多国籍の言語に翻訳・作成した行政文書や患者向けの説明文書を掲載しています。これまでも同研究班が作成した結核に関する多国籍行政文書を掲載していたところですが、多忙な中での班員の皆さまの努力により新たなニーズに対応がなされた資料は各地で活用されています。

クです。このシンボルマークは保健所、関係機関、地域の人々を象徴する三つの円で構成され、白く抜かれた円の中に「人」を表す円が配置されています。シンボル全体が両手を輪のようにつないで広がっている人のように見えます。組織の結束力と同時に外形を波紋状にし、組織が広がり、発展する願いが込められています。そしてオレンジの色は太陽と明るさをイメージしてシンボルカラーとして使われています。すべての人に光を向けて平等に照らし出す太陽のイメージ、保健所にピタリだともも気に入っています。

これからもこのマークを目にする方々のために、公衆衛生行政で働く仲間のために、当会HPではさまざまな情報を掲載していきます。皆さまからの期待しております。



注1) グローバルヘルスの保健所機能強化への活用方法確立および開発途上国に対する日本の衛生行政経験の伝達可能性の模索 研究班
注2) 公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業 研究班
注3) 医師・歯科医師・薬剤師調査(現在の名称は医師・歯科医師・薬剤師統



全国保健所長会ホームページのトップ画面

今後もさまざまな 情報を発信

当会HPのページタブ先頭にあるオレンジ色の印(誌面では1色)、これは全国保健所長会のシンボルマー